

こみぐあいの調べ方

2つのグループの数量を,それぞれの面積でわり,単位量あたりの大きさを比べることによって,どちらのほうがかんでいるかを調べることができます。

こみぐあいは,次のようにして求めます。

$$\text{こみぐあい} = \text{数量} \div \text{面積}$$

〔例〕2つの部屋に子どもがいます。洋室は 30m^2 で,12人の子どもがいます。

和室は 20m^2 で,10人の子どもがいます。どちらの部屋のほうがかんでいるでしょう。

	面積(m^2)	人数(人)
洋室	30	12
和室	20	10

洋室のこみぐあいは $12 \div 30 = 0.4$ で 1m^2 あたり0.4人いることになる。

和室のこみぐあいは $10 \div 20 = 0.5$ で 1m^2 あたり0.5人いることになる。

したがって,和室のほうがかんでいるとわかる。

人口密度の求め方

1km²あたりの人口を人口密度じんこうみつどといいます。人口密度は、次のようにして求めます。

$$\text{人口密度} = \text{人口} \div \text{面積}$$

〔例〕下の表は、各都道府県の面積と人口を表しています。人口密度を四捨五入して、上から2けたのがい
数で求めて、こみぐあい調べてみよう。

各都道府県の人口密度は次の通りとなる。

東京	$11620000 \div 2187 = 5300$ (人)
京都	$2630000 \div 4613 = 570$ (人)
徳島	$840000 \div 4144 = 200$ (人)
沖縄	$1300000 \div 2268 = 570$ (人)
北海道	$5700000 \div 78416 = 73$ (人)

このことから、東京がいちばんこんでいることや、北海道がすいていることなどがわかる。

単位量あたりの大きさ(1)

単位量あたりの大きさを求めることによって、2つのものごとを比べることができます。

〔例〕下の表は、Aのりんご畑とBのりんご畑について、それぞれの面積ととれたりんごの数を表しています。どちらの畑のほうがよくとれたといえるでしょう。

	面積 (m ²)	とれた数 (個)
A	300	1590
B	500	2450

1m²あたりのりんごの数は次の通りとなる。

Aの畑 $1590 \div 300 = 5.3$ (個)

Bの畑 $2450 \div 500 = 4.9$ (個)

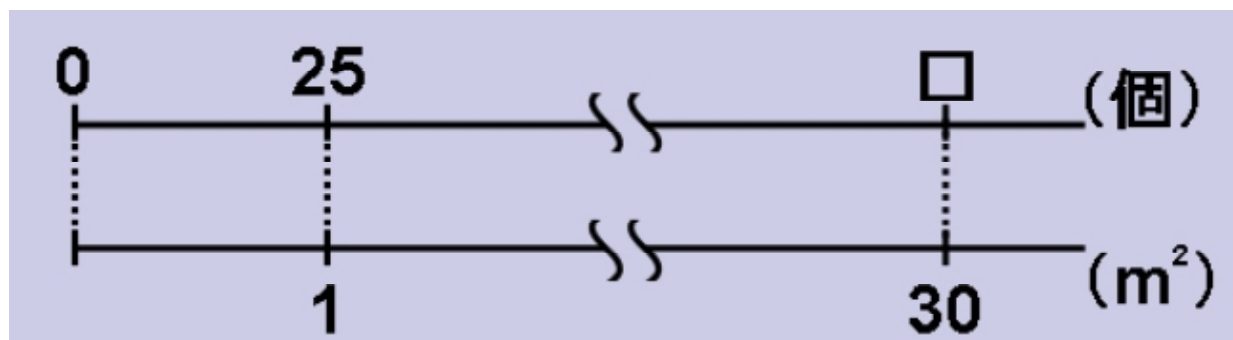
このことから、Aの畑のほうがよくとれたことがわかる。

単位量あたりの大きさ(2)

単位量あたりの大きさから、全体の量を求めることができます。

(例) 1m^2 の畑から、25個のいちごがとれます。

30m^2 の畑からは何個のいちごがとれるでしょう。



1m^2 の畑から25個のいちごがとれるので、

30m^2 の畑からとれるいちごの数は、

$$25 \times 30 = 750$$

で、750個とわかる。